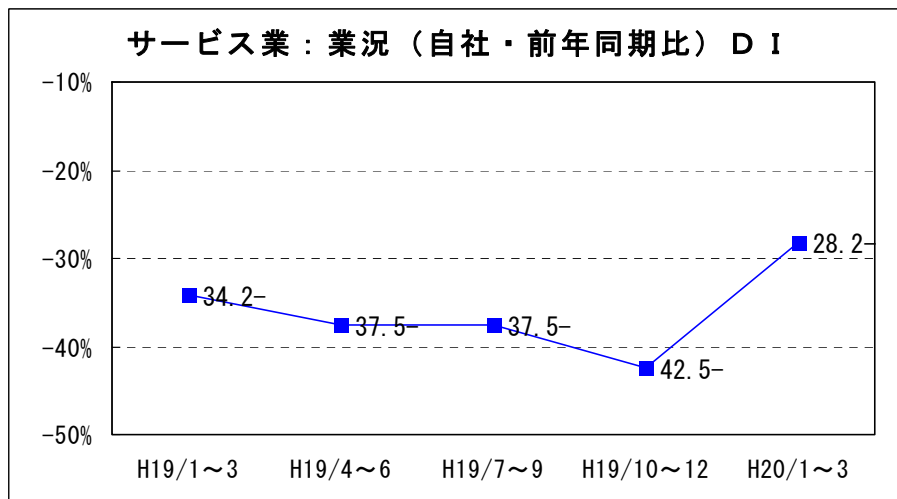


5. サービス業の動向

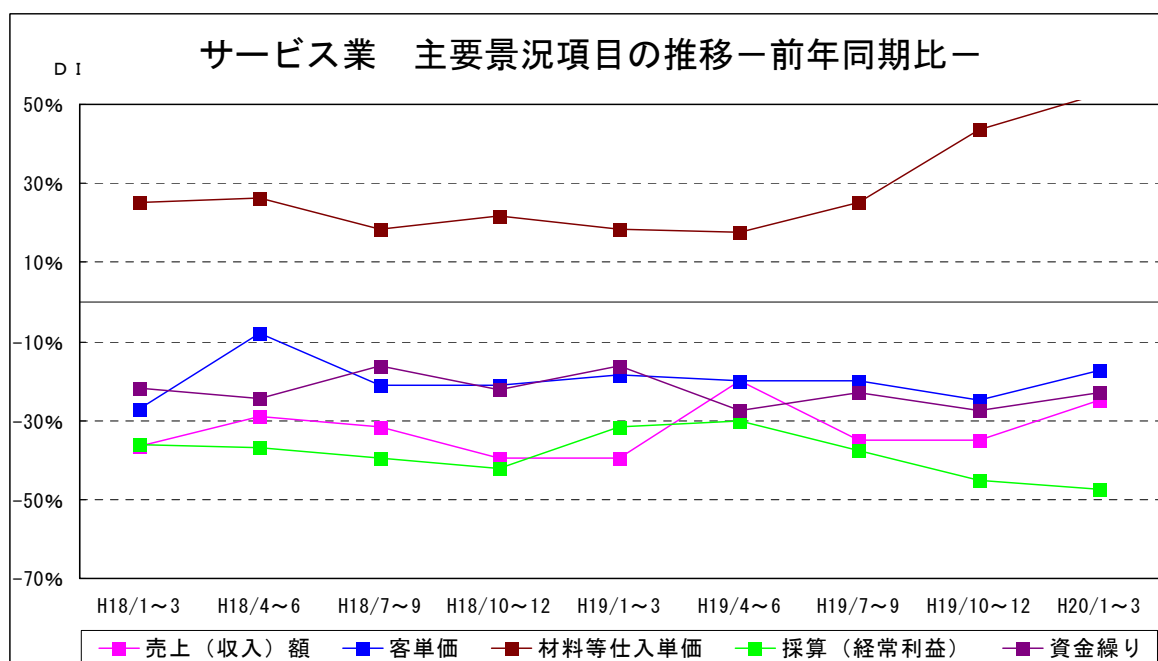
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス28.2。前期マイナス42.5から14.3ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しはマイナス33.3と悪化の見込み。



サービス業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・%）

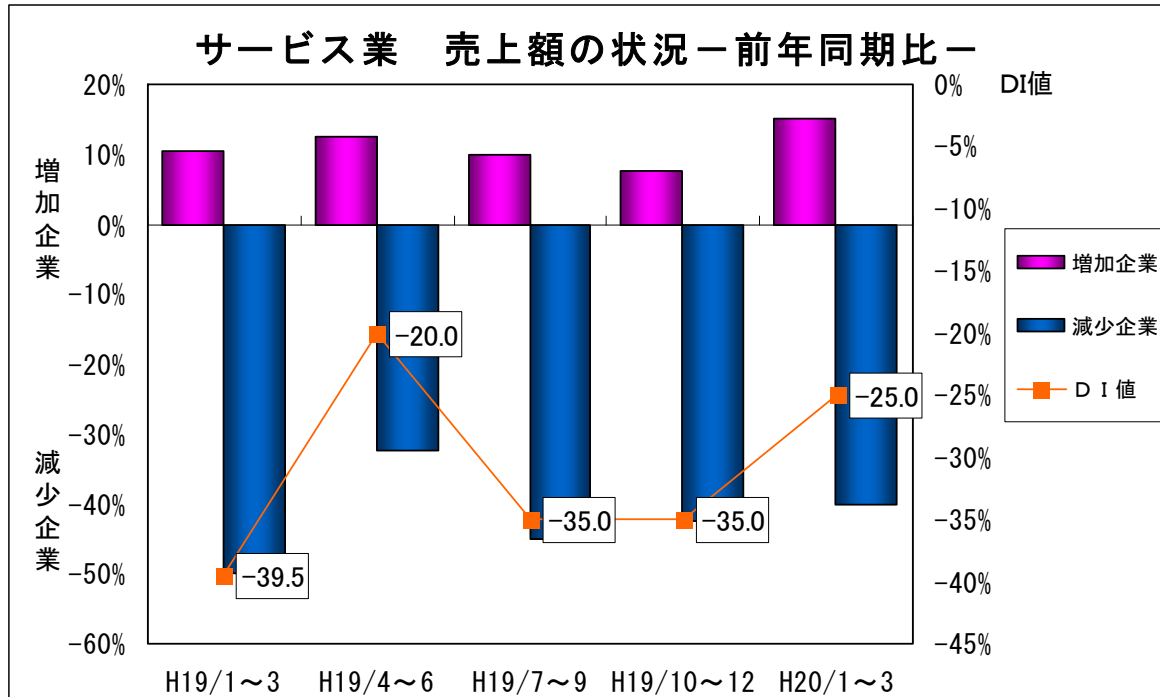
	前々期 (19年7月~9月)	前期(A) (19年10月~12月)	今期(B) (19年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上(収入)額	▲35.0	▲35.0	▲25.0	10.0	▲32.5
客単価	▲20.0	▲25.0	▲17.5	7.5	▲17.5
材料等仕入単価	25.0	43.6	52.5	8.9	45.0
採算(経常利益)	▲37.5	▲45.0	▲47.5	▲2.5	▲37.5
資金繰り	▲23.1	▲27.5	▲23.1	▲4.4	▲20.5



(2) 主要項目の概況

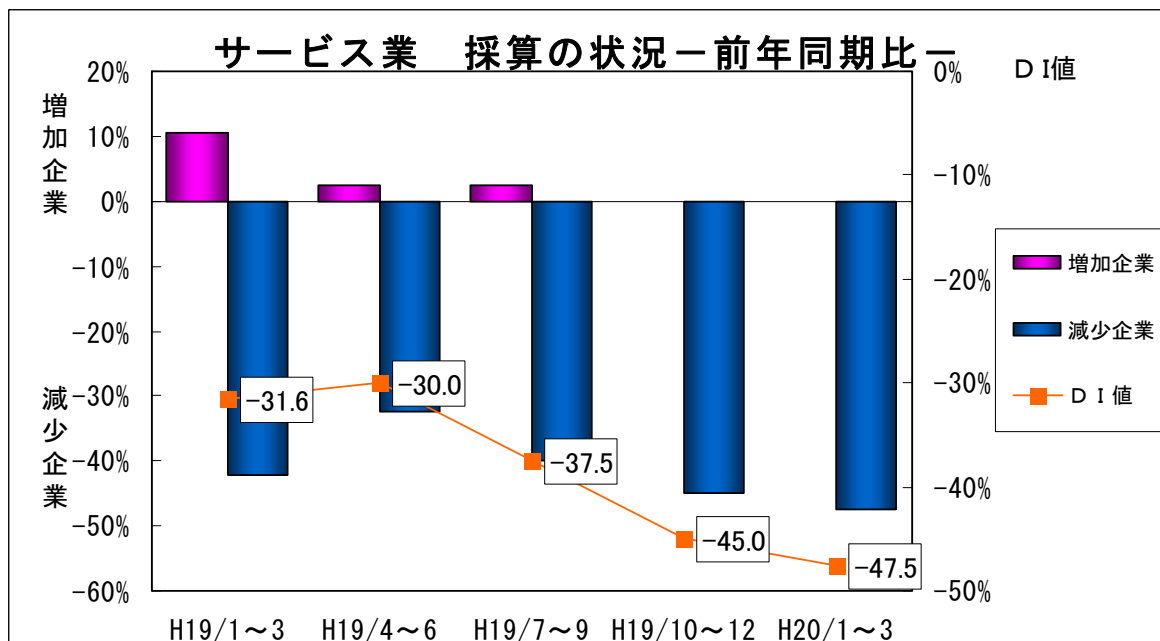
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額DI値は、マイナス 25.0。前期のマイナス 35.0 から 10.0 ポイント上昇、回復。来期見通しは、マイナス 32.5 と再び悪化の見込み。



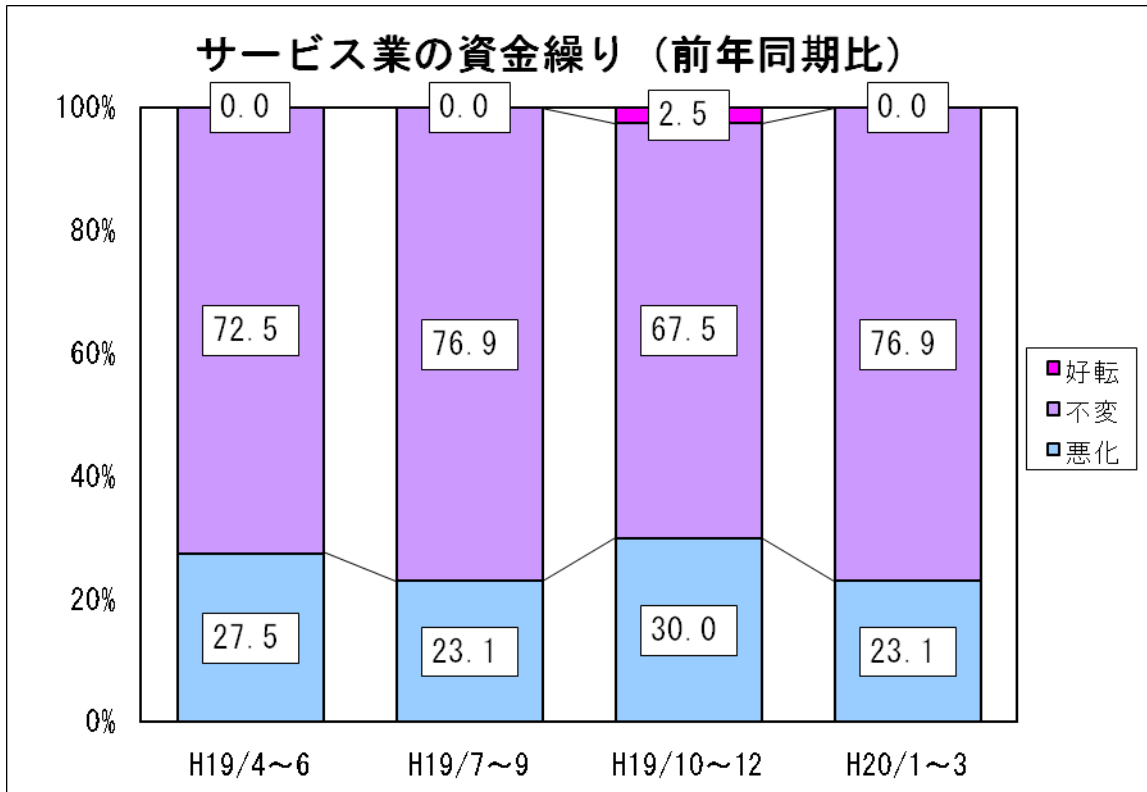
②採算（前年同期比）

今期の採算DI値は、マイナス 47.5。前期のマイナス 45.0 から 2.5 ポイント下降、悪化。来期見通しは、マイナス 37.5 と大幅に回復する見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 23.1。前期のマイナス 27.5 から 4.4 ポイント上昇、回復。来期見通しはマイナス 20.5 と更に回復の見込み。



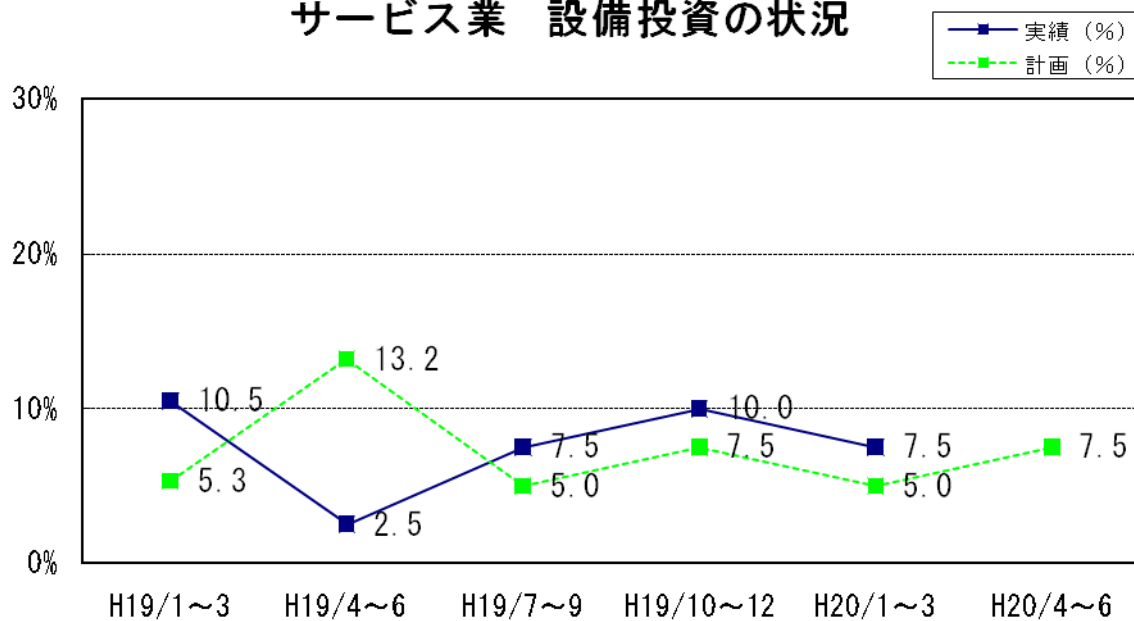
④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	サービス	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	4	0	1	0	1	1	2	0	0	36
前期実施 (%)	10.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	90.0
今期実施 (実数)	3	0	1	1	1	0	1	0	0	37
今期実施 (%)	7.5	0.0	33.3	33.3	33.3	0	33.3	0.0	0.0	92.5
来期計画 (実数)	3	0	2	0	0	0	2	0	0	37
来期計画 (%)	7.5	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	92.5

今期設備投資を実施した企業は 3 社 (7.5%)。前期 (平成 19 年 10~12 月期) の実施企業 4 社 (7.5%) より 1 社減少。来期は今期と同じ 3 社 (5.0%) が、建物、OA機器への投資を計画している。

サービス業 設備投資の状況



⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、「利用者ニーズの変化」(前期49%→今期44%)、「需要の停滞」(前期46%→今期43%)、「材料等仕入単価の上昇」(前期31%→今期35%)となっている。

サービス業 経営上の問題点の状況

